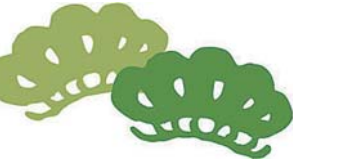


住民と府職員が力をあわせて 府民のいのち・健康・くらしを守る府政へ

橋下前知事による府庁のWTC移転に伴い、突如、大手前への移転が強行された府立成人病センター。地元住民の声も聞かずに、独断で決められた移転に地元住民は怒っています。この間、移転反対を求め、共同の取り組みをすすめてきた連合振興町会長の徳井さんにお話を聞きました。



病センターをいかに「地元のみなさんの病院ではない」と言われ、初めは反対でした。しかし、ここにもないが治療のための立派な病院と聞いて協力することになった。その頃は、地元の人々が、花を持っていったり、将棋をしに行ったりして、看護師さんとも仲良くならした。病院周辺に花を植えたり、掃除とかも町会ですてきました。



東 一郎さん

- 出席者**
- 東城区北中道連合振興町会長 徳井 一夫さん
 - 府職労成人病センター支部長 東 一郎さん
 - 府立成人病センター 看護師 鈴木 順子さん
 - 司会：府職労副委員長 芝山 光代さん

新春座談会



地域住民に支えられている成人病センター。芝山 お忙しいところ、ありがとうございます。成人病センターに対する地元住民の思いを聞かせてください。



徳井 一夫さん

芝山 連合振興町会として移転反対の署名に取り組んでおられますが、そのきっかけは。



鈴木 順子さん

徳井 とても大切なことであります。憲法に定められた「全体の奉仕者」としての公務員、公平性・中立性、福祉の向上に寄与することにならなければ、知事の言いなりにならないとクビになる条例で

「99%が今後の社会の大きな流れとなるのではないだろうか。日本でも非正規労働者が半数近くを占め、年収200万以下のワーキングプアと言われる層も多くなり貧困と格差が急速に広がっています。貧困と格差をなくすために、正規・非正規を問わず、労働者全体の賃金底上げ運動、いっそう力をつくすことが求められています。」

芝山 今回の知事・市長の選挙結果どう思いますか。徳井 維新の会の勝ちすぎですね。ますますやりたい放題になりますね。住民と自治体職員の共同が住民自治の基本。芝山 地域振興費もなげずか言ってますが。徳井 そんなことなら、いりません。その代わり行政と住民をとりきません。回覧板や地域の清掃など地域の取り組みを全て市役所の職員がしろいと言っているんですよ。それだけ大変かかっているのではなか。芝山 住民自治組織の必要性は震災の経験でも明らかです。安全・安心のまちづくりには必要と思うのですが。徳井 とても大切なことであります。そのための税金がムダ



芝山 光代さん

芝山 今後、森ノ宮の開発が問題になりますね。どうやって住民本位のものにしていくかが課題ですね。徳井 今度は市長だからどうすると言っているでしょう。病院を民間に売るといってもいいですね。芝山 この間、成人病セン

芝山 今後、森ノ宮の開発が問題になりますね。どうやって住民本位のものにしていくかが課題ですね。徳井 今度は市長だからどうすると言っているでしょう。病院を民間に売るといってもいいですね。芝山 この間、成人病セン



陸前高田の現場で、13・7mまで到達した津波の跡を説明してくれた土井豆さん。「第一堤として5・5mの堤防を作り、砂浜なども復元する。その後ろに、13・5mの防潮堤を作るんです。鉄筋の入っている建物がこぼれ壊れるのはなかなかない」と津波の激しさを語ってくれました。



土井豆さんたちが復興を担当し、堤防を作る陸前高田の海岸

不当解雇や一方的な賃金カット 労働条件引き下げを許さない社会にしよう！

12月8日、大寒波と雨の中、「12・8争議支援総行動」が行われました。民間企業では、不当解雇や一方的な賃金カット、労働条件の切り下げ、見せしめ差別処遇が公然と行われています。また、大企業でも法的に認められていない「不当解雇」や「不当な賃金カット」が横行しています。民間企業でも法的に認められていない「不当解雇」や「不当な賃金カット」が横行しています。民間企業でも法的に認められていない「不当解雇」や「不当な賃金カット」が横行しています。

「民間では当たり前」発言は違法・不法を免罪するものだ。橋下・維新の会代表は、事あるごとに「民間には当たり前」を連発しています。しかし、多くの民間の労働者は、「当たり前」で見過ごせるものではありません。日本経団連の御手洗会長（当時）は、自ら社長を務めるキヤノンが「偽装請負」で告発されると、「法律が悪い。法律を変えろ」と迫ったことで有名です。東京電力は、「安全だ。安全だ」と政府とグルになって「安全神話」を振りまき、過酷事故が起きると「想定外」を口実に責任逃れをしています。このように民間の不当な行為を免罪し、「民間では当たり前」などという発言は許されません。

雇用・労働環境を変え、不安定雇用や低賃金、劣悪な労働条件をなくさない限り、橋下氏などの「確信犯的論理」ですべての労働者の雇用や賃金・労働条件を引き下げる「アコ」にされま。安定雇用、人間らしい生活ができる賃金と労働条件が「当たり前」の社会を実現するために、引き続き働くルールの確立をめざす運動を広げましょう。

大阪争議団「12・8争議支援総行動」 に府職労から12名が参加

12月8日、大寒波と雨の中、「12・8争議支援総行動」が行われました。民間企業では、不当解雇や一方的な賃金カット、労働条件の切り下げ、見せしめ差別処遇が公然と行われています。また、大企業でも法的に認められていない「不当解雇」や「不当な賃金カット」が横行しています。民間企業でも法的に認められていない「不当解雇」や「不当な賃金カット」が横行しています。

「民間では当たり前」発言は違法・不法を免罪するものだ。橋下・維新の会代表は、事あるごとに「民間には当たり前」を連発しています。しかし、多くの民間の労働者は、「当たり前」で見過ごせるものではありません。日本経団連の御手洗会長（当時）は、自ら社長を務めるキヤノンが「偽装請負」で告発されると、「法律が悪い。法律を変えろ」と迫ったことで有名です。東京電力は、「安全だ。安全だ」と政府とグルになって「安全神話」を振りまき、過酷事故が起きると「想定外」を口実に責任逃れをしています。このように民間の不当な行為を免罪し、「民間では当たり前」などという発言は許されません。

雇用・労働環境を変え、不安定雇用や低賃金、劣悪な労働条件をなくさない限り、橋下氏などの「確信犯的論理」ですべての労働者の雇用や賃金・労働条件を引き下げる「アコ」にされま。安定雇用、人間らしい生活ができる賃金と労働条件が「当たり前」の社会を実現するために、引き続き働くルールの確立をめざす運動を広げましょう。